

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
25	東京純心大学	終末期・緩和看護学	戸塚 智美 看護学部 教授	1	前期	月	8	13:00～14:30	東京純心大学	5

【到達目標】

1. 終末期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
2. 緩和ケアの理念と緩和ケアにおける倫理的な課題を説明できる。
3. 症状のアセスメントとそれに対する看護技術を説明できる。
4. 全人的ケア(身体的ケア・心理的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケア)のアセスメントおよび緩和ケアにおける看護師の役割を説明できる。
5. 緩和ケアにおけるチームアプローチの意義と看護師に求められる専門性についてを説明できる。

【授業の概要】

緩和ケアの本質は、病むことや死と向き合うことを余儀なくされることに苦悩し、これからの人生をどう生きるかについて思い悩む人々に寄り添い、歩んでいくことにある。緩和ケアの技術は薬物療法だけではなく、心理社会的サポートやスピリチュアルケアなど、包括的な視点で多面的なアプローチが展開される。この授業では、終末期にある人の身体的・心理的・社会的ケアやスピリチュアルケア、臨死期のケアや家族へのケアについて学習する。また、「緩和ケアの広がり」として、ライフサイクルにおける広がり、がん以外の疾患への広がり、療養の場の広がりを学習する。

【授業内容】

1. 緩和ケアの現状と展望（戸塚）
緩和ケアの理念
緩和ケアにおけるチームアプローチ
緩和ケアにおける倫理的課題
2. 全人的ケアの実際：身体的ケア（宗定）
3. 全人的ケアの実際：心理・社会的ケア（戸塚）
4. 全人的ケアの実際：スピリチュアルケア（宗定）
臨死期の看護・グリーフケア
5. 家族へのケア
様々な疾患における緩和ケアの広がり（戸塚）
6. がん患者の緩和ケアとチームアプローチの実際（宗定）
7. 【演習】緩和ケアにおけるコミュニケーション（戸塚）
8. 意思決定支援（講義・ワークショップ・グループワーク）（宗定・戸塚）
・アドバンス・ケア・プランニング（ACP）と人生会議
・「もしバナゲーム」

【成績評価方法】

- <評価基準>
- ・「到達目標」に明示している目標 1～5 を定期試験の評価対象とする。
 - ・課題レポートは「緩和ケアの看護師の役割について文献を用いて論述できる」ことを評価基準とする。
- <割合>
- ・「定期試験 60%、レポート 40%で評価する」

【教科書】

系統看護学講座 別巻 緩和ケア(第3版)、医学書院、2020.

【参考書、教材等】

日本緩和医療学会: 専門家をめざす人のための緩和医療学、南江堂
薬物療法や症状緩和についてのガイドラインは日本緩和医療学会の HP(<https://jspm.ne.jp/guidelines/index.html>) からダウンロード可能
高宮有介: ナースができる疼痛マネジメント, メヂカルフレンド社
ミルトン・メイヤロフ著, 田村真訳: ケアの本質-生きることの意味-, ゆみる出版
ヴィクトール・フランクル著, 池田香代子訳: 夜と霧, みすず書房
千葉敦子: よく死ぬことは、よく生きることだ, 文芸春秋
アーサー・クラインマン著, 江口重幸訳: 病いの語り, 誠信書房
アイリーン・モロフ・ラブキンら著, 黒江ゆり子訳: クロニックイルネス-人と病いの新たなかかわり, 医学書院

※ この授業は、4/11(月)が初回です。